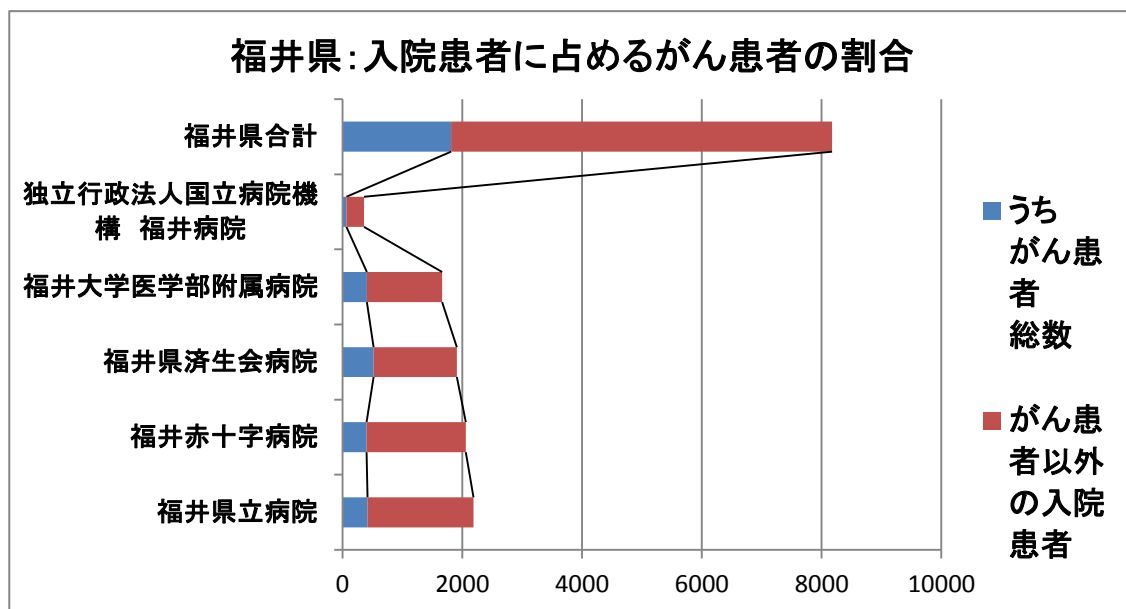
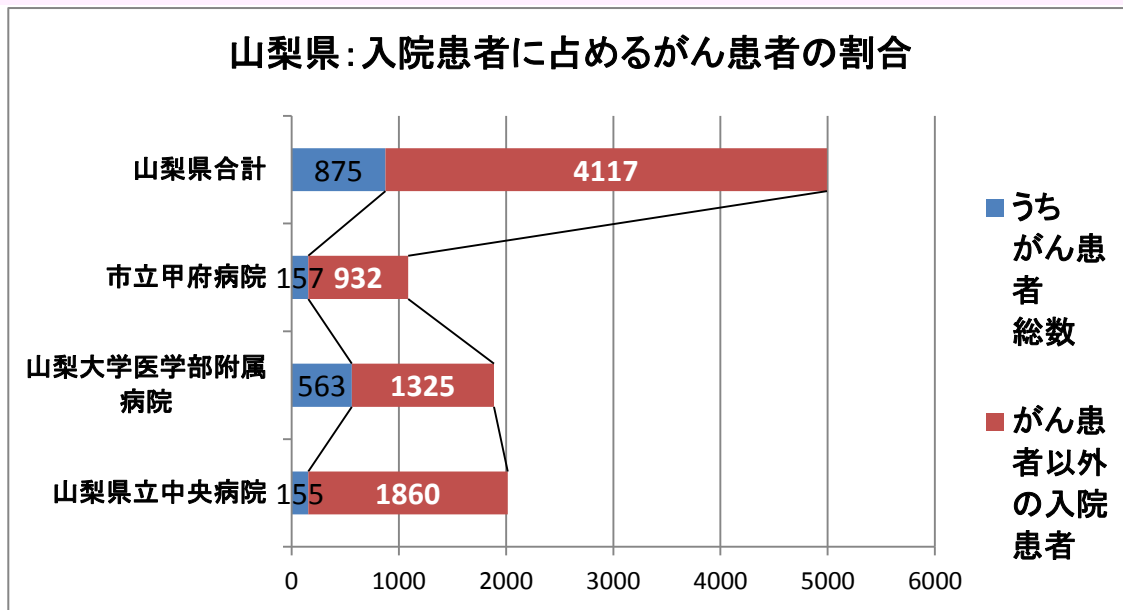
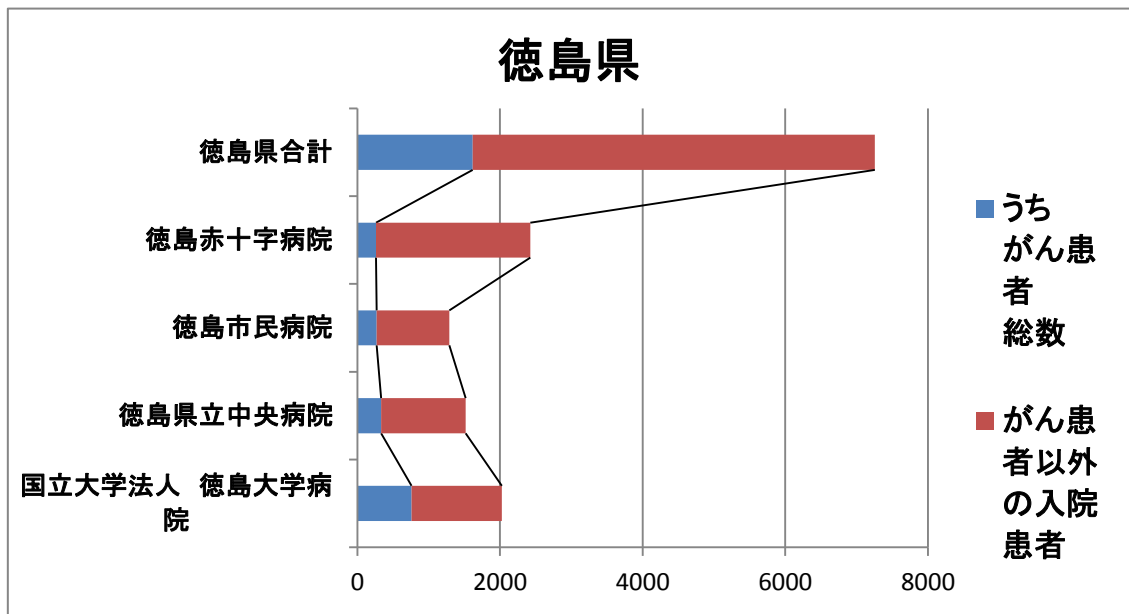
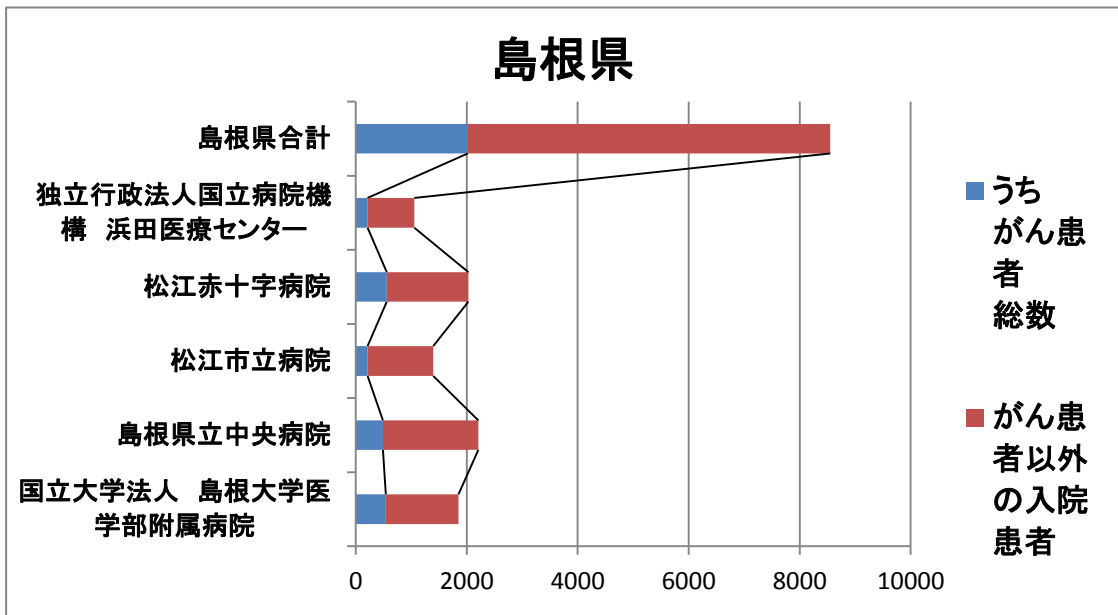
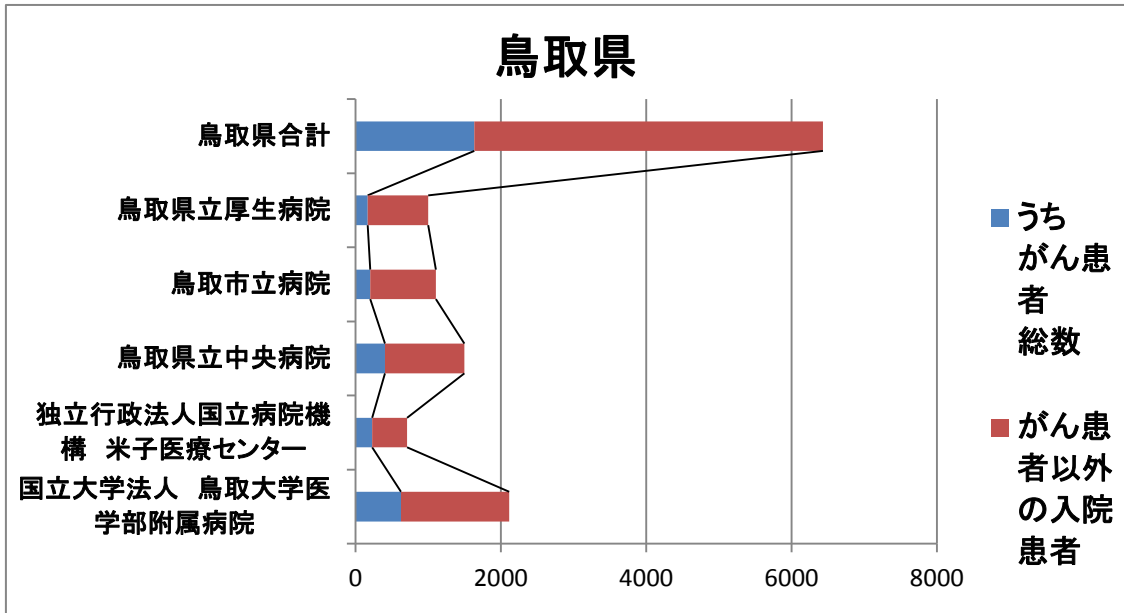


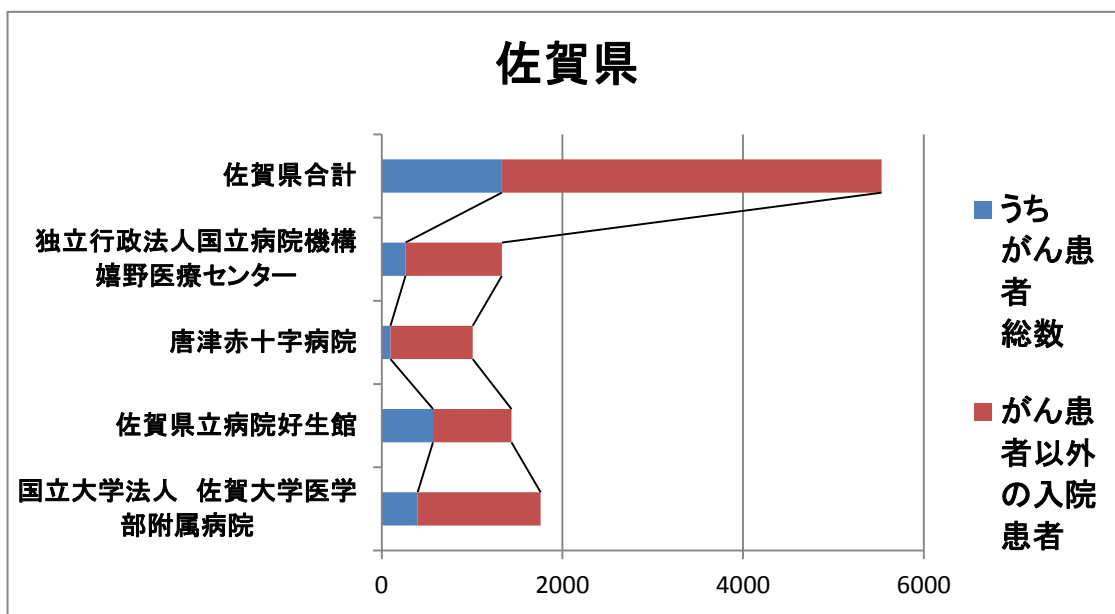
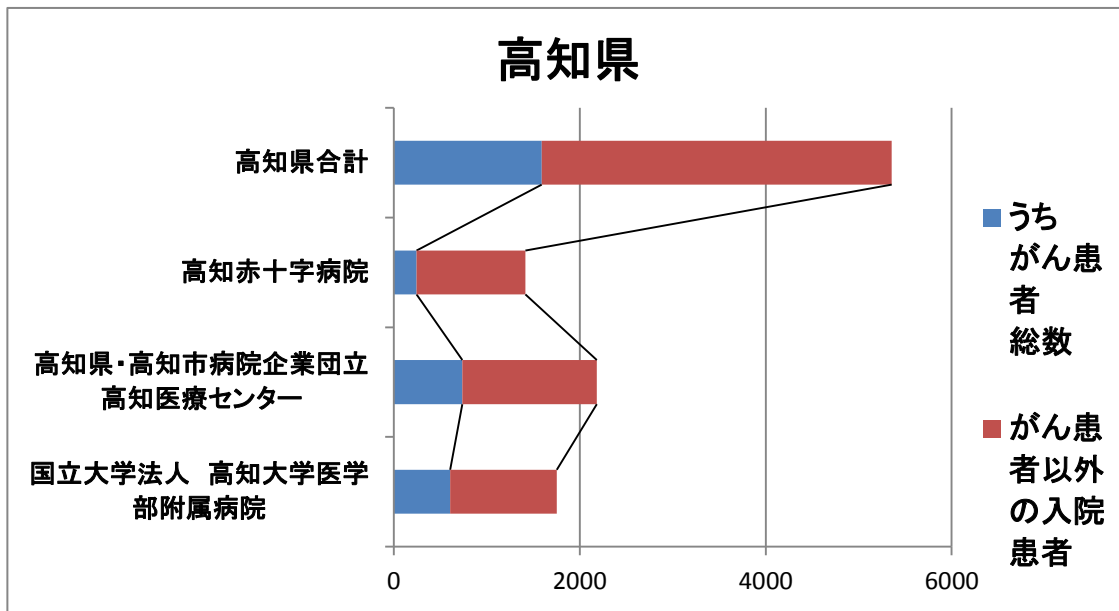
山梨県のがん診療連携拠点病院と、人口規模類似（87万人以下）の地方公共団体のがん診療連携拠点病院の比較

2007年、がん対策基本法が施行され、法に基づいてがん対策推進基本計画が策定された。そしてこの推進基本計画を参考に、各都道府県はそれぞれの実情に合ったがん対策推進計画を策定した。それ以前にもがん対策は行われていたはずだが、この基本法施行をきっかけに、すべての人がどこに住んでいてもがんの治療に格差が出ないようにするための施策がやっと本格的に検討され始めた。故山本孝史さんが命をかけて訴えてきた課題だ。しかしその理想に近づくのはまだまだ……。だれでも、どこに住んでいても、その人にとってより良い治療が受けられる医療環境にするために、少なくともそれぞれの拠点病院（今後はすべてのがん治療にかかわる病院）の治療状況がわかるよう情報提供され、行われている医療の状況がわかるようになってほしい……。治療が終わってみなければ医療費を含め何もわからない医療環境では不安です。

知りたいことは、『私』と同じような患者が、自分の周りにどれくらいいて、どこでどんな治療を受け、退院後どんな状況で生活しているのか……。『私』がお世話になっている病院は、どんな手術を、月間どれくらいしているのか？どんな分野が得意なのか？『私』にはどの病院の、どんな先生の、どんな治療が合っているのか？などなど、具体的な情報です。現在公開されている情報から下記の資料をまとめてみました。

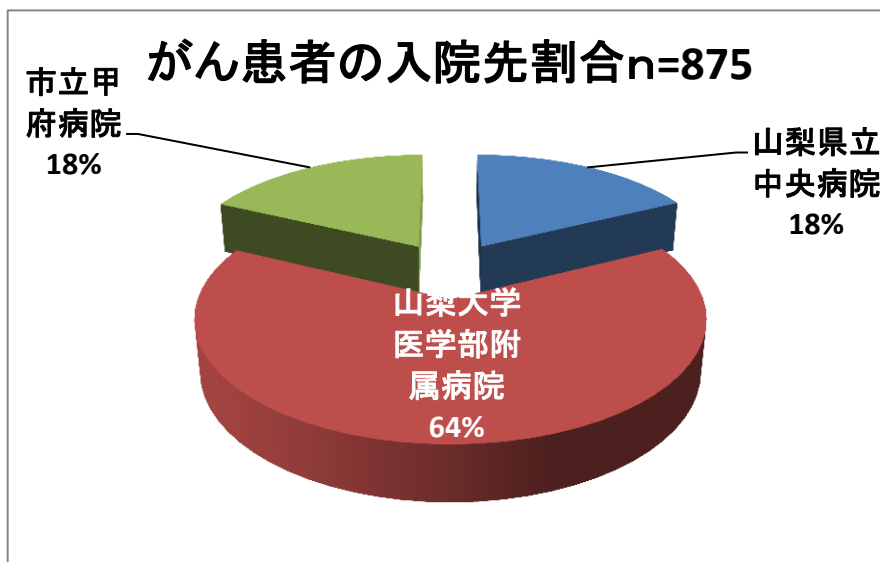




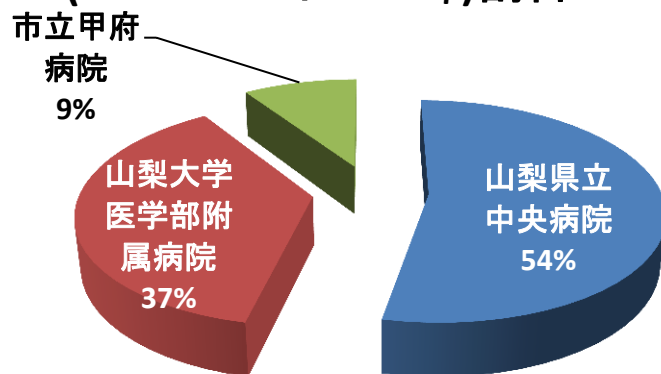


■ 山梨県のがん診療連携拠点病院とがん治療

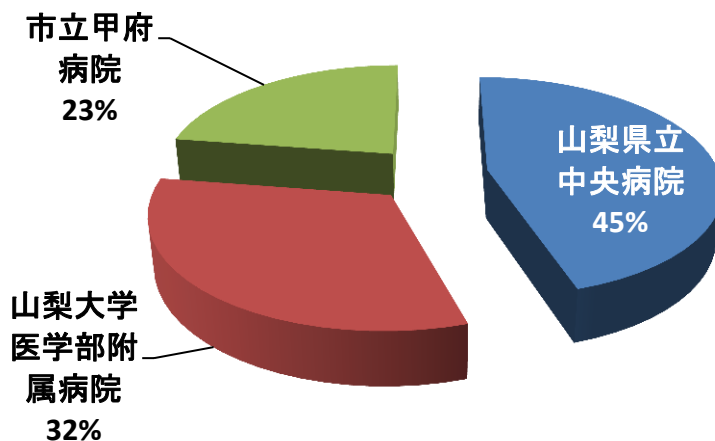
がん治療状況について山梨県の拠点病院を比べてみました。データソースはこちらも国立がん研究センターがん対策情報センターのホームページです。



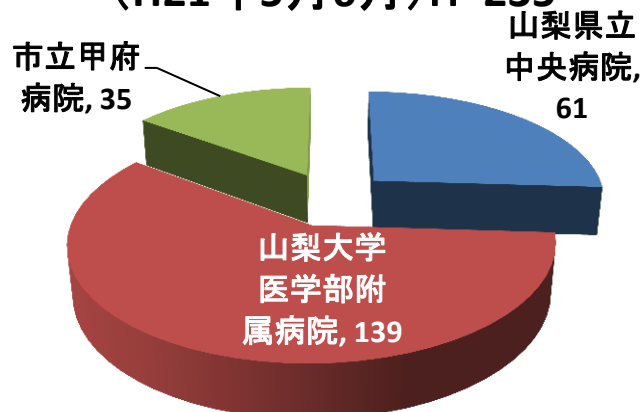
拠点病院に入院する乳がん患者 (ICD-10コード C50\$)割合n=75



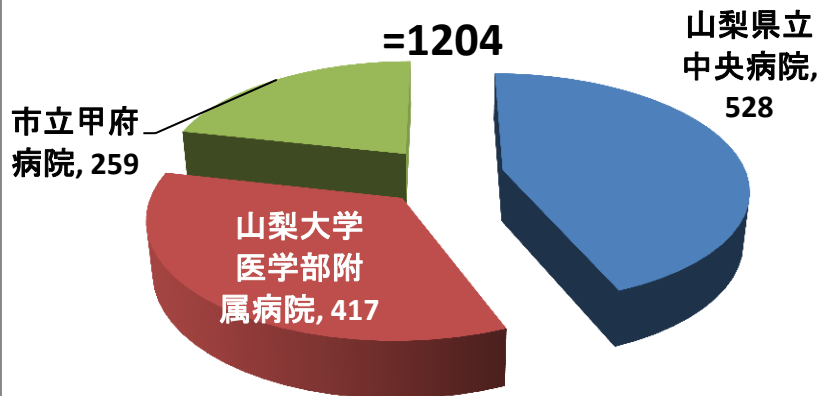
拠点病院に入院する がん患者以外の入院先n=4117



悪性腫瘍手術総数2ヶ月間 (H21年5月6月)n=235



放射線治療(対外照射)総数 1年間(平成20年1月~12月)n



化学療法実績

